

「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会

サンプル検討会 兼 第10回スタッフ会議報告

- 【日時】 2010年7月3日(土) 午後1時～4時半
 【場所】 倉敷市立自然史博物館
 【出席者】 実行委員：布谷(滋賀)、鈴木(兵庫)、伊東・高島・木村・宮田(大阪)、久保田(奈良)、
 村田・今村(京都)、末広(香川)、小川(徳島)、井上(島根)、松井・川又・橋越(愛媛)
 横山(福井)、藤川・坂本(高知)・狩山(岡山)、以上12府県19名
 一般参加(第1部 サンプル検討会のみ)：木下・稲神・松村・溝手・島岡(浩恵・健)
 森下(裕和・裕子)・木村・入江・可児・日朝(倉敷市立自然史博物館友の会12名)
 【司会】 高島(大阪自然環境保全協会) 【記録】 木村(同)
 【案件】

第1部：サンプル検討会(午後1時～2時35分)・・・休憩後：2時45分から第2部

(1) 各府県の調査概要(2010.7.3 現在)と取り組みの報告・自己紹介

番号	府県	報告	本調査		予備 有効数	合計	取り組みの概要など
			処理済	推定数			
18	福井	横山		500	431	931	県南部を中心に調査、キシロタンポポを発見
24	三重	欠席	1836	1836	733	2569	
25	滋賀	布谷	1589	1589	936	2525	花粉チェック除いて、処理は済んでいる
26	京都	今村		2000	674	2674	処理はこれから。空白地域はかなりうまった
27	大阪	木村	1970	4000	1340	5340	半分処理、総苞1で花粉バラバラが増えた
28	兵庫	鈴木	500	5000	4102	9102	3000 は伊丹市の中学生、処理はこれから
29	奈良	久保田		1050	963	2013	処理はまだ、山間部でキシロ・クシバを発見
30	和歌山	欠席		2000	822	2822	
31	鳥取	欠席		2000	240	2240	
32	島根	井上		2000	731	2731	サンプルは県西部に偏り、空白域は減少
33	岡山	狩山	2200	5500	2883	8383	観察会3回会実施、空白域はさらに埋まる
34	広島	鈴木		2350	419	2769	
35	山口	鈴木		700	2471	3171	今年の分は550、昨年の多くは頭花なし
36	徳島	小川	500	6000	1164	7164	説明会、マスコミ報道、半分程度は小川氏
37	香川	末広	4700	5800	2413	8213	香川植物の会と高校関係、1000点の人も
38	愛媛	松井	1400	5500	2599	8099	空白メッシュを人で分担、山地には分布せず
39	高知	藤川	5144	5144	1101	6245	処理入力は県雇用促進事業で完了
40	福岡	鈴木		1200	0	1202	北九州市で900、残りが福岡その他
41	佐賀	鈴木		440	0	440	かなり調査したが、分布地点が少ない
合計			17639	54609	24024	78633	

(2) サンプル検討会

各地で採取されたタンポポのうち、判定が難しいタンポポのサンプルを持ち寄って、頭花の形態や花粉の顕微鏡観察を行い、鈴木武さんを中心に種類の判定をした。調査前にもタンポポの種類の見分け方について検討し、カラーチラシも作成して、皆様にも配布したが、皆さんから送られてきた実物を見てみると、判定が難しいものもたくさんあり、タンポポの世界の奥深さを痛感した。それらを西日本全体から持ち寄って、みんなでそれぞれの府県での経験をもとに、わいわいと楽しく話し合いながら、タンポポ調査実行委員会としての統一した見分け方を相談した。今回の調査では、これまでその府県で報告されていなかった種類も次々と発見されている。これらについては、その府県のメンバーは初めて見たもので、自信をもって同定できないものもあったが、サンプル検討会で判定され、安心して帰ることができました。しかし、一部については結論を得ることができず、今後、各自で研究を深めることになったものもある。

この日の主な議論は、キビシロタンポポとシロバナタンポポの識別法の確認、クシバタンポポやヤマザトタンポポなどの倍数性の在来種の見分け方、花粉のサイズがわずかにばらついている標本が2倍体在来種と判定しているのかどうか、ロクアイタンポポ(仮称)の特徴の確認、セイタカタンポポの変異の幅の広さとイブキタンポポ、ツクシタンポポの特徴などであった。

(3) 他府県のサンプル交換会

この日はまた、各府県事務局へ送られてきたサンプルのうち、採集地点が他の府県のものを持ち寄って、これらを交換した。概数では1000を超えるサンプルが集まった。本日欠席の府県については、郵送したが、この日以降見つかったものは、各府県事務局から外套の府県事務局へ送ってほしい。

第2部：第10回スタッフ会議(午後2時45分～4時30分)

(1) 前回スタッフ会議の報告(第9回スタッフ会議報告2010.2.28参照)

- ① 日時 2010年2月28日(日) 午後1時～4時
- ② 場所 大阪自然環境保全協会事務所
- ③ 出席者 布谷(滋賀)、佐藤・伊東・高島・木村・横山・神田・宮田・南(大阪)、久保田(奈良)、今村(京都)、松井・川又(愛媛) 以上5府県13名参加
- ④ 主な案件
 - ・第3回実行委員会(2010.1.30 大阪市中央公会堂)報告：15府県・60名参加。
 - ・予備調査報告書(200部印刷)・調査用紙(1500×14府県、兵庫・徳島・鳥取・愛媛は自県で印刷)・カラーチラシ(2000×19府県+予備2000=4万部)
 - ・本調査に向けて(調査体制の確認・いくつかの課題の検討・調査実施要項・サンプル処理マニュアル・入力フォーマットの確認・佐賀の参加で19府県に拡大)
 - ・実行委員会予算・ホームページ・メーリングリストについて
 - ・今後のスケジュール(多様性エキスポ大阪への出展・11府県での説明会など)

(2) サンプル処理・データ入力方法の確認(変更点を中心に)

- 1) 他の府県で採取されたデータは、採集した地点の住所の府県の事務局で処理を行なう。(本日、交換会を実施。欠席の府県に対しては、本日郵送)
 - ・予備調査分については、昨年度の処理のままをしたい。
 - ・本日欠席の府県のお持ちの分や、今後出てきたものについてはどうするか?
- 2) 頭花のないサンプルについては、西日本全体のデータ処理では無効として扱う。ただし、府県別の処理ではそれぞれの府県の判断でよい。
 - ・例えば、アカミタンポポのように瘦果だけで確認できる場合もあるが、頭花がないと総苞外片の状態もわからず、花粉観察もできないので、無効とする。
- 3) 花粉観察については、標本数が多すぎて困難な場合は、総苞外片の状態が、「3」「4」「5」のサンプルはしなくてもよい(予備調査では「4」「5」のみ)。
- 4) 整理番号の打ち方の確認……各府県番号は変更なし(佐賀県は41)。3桁目を予備調査では「0」から始めたので、本調査は「1」から始めることを原則としたい。
 - ・すでに予備調査で3桁目に「1」を使っている府県はこの限りではない。
 - ・同じ番号を絶対2つ使わないこと。欠番はあってもかまわない。予備調査では同じ番号で、内容が明らかに違う場合があった。
- 5) サンプル処理の段階で、住所・地図データと緯度経度(世界測地系であるか?)の対応をできるだけ確認する。→HPで確認方法を紹介。
- 6) 入力用エクセルシートはHPからダウンロードして指定のものを使うこと。
 - ・入力フォーマットが使えないパソコンでは、エクセルシートに直接入力いただいてもよいが、この際も下記の点は守ること。
 - ・途中で列を挿入したり削除したりしない。(最後の予備列は各府県で使ってもよい)
 - ・入力する列ごとに書式を変更しないこと。半角・全角やスペースに注意。

(3) 今後のデータ解析について

*データ入力の締切り：8月末日…予備調査は7月末日締切としたが、今回はデータ

数が多くて終わりそうにないので、1ヶ月延期した。締切厳守でデータを入力したファイルを西日本事務局まで、添付ファイルでお送りください。

- ① 予備調査報告書に収録した主な解析データ
 - ・各府県の種類別・生育環境別・総苞外片の状態別などの地点数(クロス集計)
 - ・3次メッシュでの種類別分布地図(3次メッシュ4個分の分布地図)
- ② 今回はどのような解析を行うか
 - 1) 予備調査結果と本調査結果を合体させて処理を行う。
 - 2) 本調査結果については、まず、各府県で入力後にできるだけミスのないようにチェックを行うこと。その後、事務局のアドレスへ添付ファイルで送付。
 - 3) 昨年同様に本調査結果の信頼性(緯度経度やメッシュ番号のチェック・・・海上や他府県など)をチェックして、問題のあるデータは各府県で再度検討する。
 - 4) その後、府県別の基礎的なデータ処理を行なう。
 - ・基本マップの作成：3次メッシュでの種類別分布地図
 - ・各府県の種類別・生育環境別・総苞外片の状態別などの地点数(クロス集計)
 - 5) それ以外のデータ処理について・・・昨年度の議論を踏まえて今後検討。
 - ・在来種と外来種の分布を同じメッシュに表示した地図(小川氏作成)
 - ・外来種(雑種を含む)の比率を示す地図
 - ・2次メッシュでの分布地図や比率を表す地図
 - ・その他
- ③ 雑種の解析について (大阪市大・伊東氏)

*** 瘦果の送付締切り：8月末日 ()**

- ・本調査では、各府県から送られてきた瘦果のサンプルをもとに、雑種解析の葉緑体DNAの解析のみを行い、雑種か純粋な外来種かを識別し、雑種のタイプまでは解析しない。
- ・また、葉緑体DNAの解析は、瘦果を播種して得られる実生ではなく、瘦果から直接可能になったので、冷蔵保存は不要。
- ・原則として、全サンプルを送ることとするが、残しておきたい場合は、一部のサンプルのみでもよい。ただし、その場合はサンプルに偏りがないようにし、特に、総ほう外片の反り返る状態が様々なタイプのものが適度に混ざるようにすること。
- ・送付する数は、セイヨウタンポポ：200以上、アカミタンポポ：100以上。

* 送付先住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学 理学研究科 植物生態学研究室 伊東 明 宛

(4) 調査結果の集約と報告書の作成

① 調査報告書の作成について

1) 形式

- ・前回の近畿での2005年調査の報告書に準じる。
- ・A4判、120ページ程度(?)。1500~2000部(各府県50部ずつとしても1000部必要、すでに申し込みが約100部)印刷、今後、いくつかの印刷業者に見積もりを取る。
- ・HPにもカラー版をアップする。

2) 今後の予定

- 10月2日(土)：第11回スタッフ会議、目次案・執筆分担の決定
- 12月18日(土)：第12回スタッフ会議、一次原稿締切り→編集作業
- 2011年1月末日：2次原稿締切り→編集作業→3月末日までには発行

3) 目次案

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. はじめに(調査の目的・意義)― | |
| 2. 調査の概要 ①組織・経過― | ②方法― |
| 3. 調査結果 | |
| ① 全体のまとめ― | 、分布地図― |

② 各府県別の結果報告－76 (各府県4×19)
 ③ 雑種タンポポの解析結果－ (伊東)
 <参考資料－西日本のタンポポ ()・雑種タンポポ ()・調査用紙()>
 *合計：120ページ程度 (?)

② カラーチラシについて

1) 形式

- ・予備調査時に作ったものに準じる。A3判両面印刷(4ページ)・・8ページも可か？
- ・印刷枚数：少なくとも4～5万枚、印刷費用：枚数によるが1枚8～10円程度

2) 内容

- ・西日本のタンポポの識別方法と今回の調査結果の集約。

3) 今後の予定

- ・12月18日(土)：一次原稿締切り→意見交換→1月末日：二次原稿締切り

③ その他

(5) 実行委員会予算について (前回報告分+会計の宮田氏より当日報告)

① 2009年度会計報告

① 収入 (2010年6月末日現在)

- ・収入：前回調査の残金(29万円)+下表の助成金(計236万円) +伊東氏の助成金(60万円)+報告書前金及び寄付金(約19万円)など

助成団体	金額	期間	申請	備考
1 西日本博物館社	10万円	1年	鈴木	6万円を事務局へ
2 武田科学振興	30万円	2年	木村	助成期間は2年間
3 花の万博協会	100万	1年	鈴木	支出の半額を助成
4 大阪自然環境保全協会	100万	1年	木村	主として報告書印刷

② 主な支出

- ・第2回実行委員会の会場費(中央公会堂)：2万円余り
- ・雑種の解析については、伊東先生が受けられる科研費で対応可能。
- ・予備調査報告書(内部印刷なので、紙代+インク代で約1万円)
- ・カラーチラシ・本調査用紙の印刷費用・発送費用(約60万円)は伊東氏から。

③ 花博協会の助成金の使途について

- ・1府県につき、3万円(×19=57万円)まで可能。ただし、領収書が必要。
- ・領収書の品目は調査やデータ処理に必要な文房具などの消耗品
- ・交通費については、領収書があればそれを提出、ない場合の近郊区間については、別紙のような書式での提出もOKです。
- ・賃金については、「データ入力」とし、1日：8時間6000円で申請しているので、1日：6000円か、半日：3000円、1時間800円で個人名(印)の領収書を作成してください。(書式は後日添付ファイルで送信)
- ・スタッフ会議の2週間前(今回は9月18日)までに、西日本事務局(大阪自然環境保全協会)あてに領収書などをお送りいただければ、会議当日支払う。

(6) そのほかの検討事項

① 「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会のホームページについて

- ・予備調査報告書・調査用紙・カラーチラシの掲載。
- ・小川さん作成の予備調査結果のマップを見ることができるシステムを「各府県の動き」のページからリンクできるようにした。
- ・調査実施要項(全体向け)・サンプル処理マニュアル・入力シート(府県事務局向け)をアップした。

- ・小川さん作成の位置情報の確認システムを掲載するとともに、徳島県実行委員会のHPとのリンク。
- ・スタッフ会議終了後、本調査の府県別調査数や会議報告をアップ。

② メーリングリストについて

- ・実行委員会用のMLは活用されているが、一般用のMLは書き込みが少ない。
- ・簡単なタンポポの話題でもいいので、活発に書き込みをお願いしたい。
- ・調査結果の概要もスタッフ会議で了解されたものを順次流していきたい。
- ・調査終了後もこのままにしておくか、いったん、中断するかは今後検討。

③ 各府県で実施した観察会・説明会、及び、各府県・ブロック別にマスコミ報道などをまとめておきたいので、各府県事務局からご連絡ください。

- ・観察会・説明会：日時・場所・参加者数・概要
- ・マスコミ報道：掲載月日(または、放映時刻)・社名・できるふだけ記事のコピーかPDFをお送りください。

(7) 今後のスケジュール

2010年	3月～5月	本調査の実施
	4月～7月	各府県事務局での花粉観察やデータ処理作業
	7月3日(土)	第10回スタッフ会議
	6月～8月	本調査結果の入力
	8月末日	入力データの送付締切り
	9月	データ処理
	10月2日(土)	第11回スタッフ会議
	10月～11月	データ解析(全体・各府県別)・報告書原稿の執筆
	12月18日(土)	第12回スタッフ会議：報告書原稿締切り
2011年	1月末日	報告書2次原稿の執筆
	2月末日	報告書発行予定
	3月5日(土)	調査結果報告会の開催(於 大阪、梅田周辺で検討)
	3月末日	助成金の事業報告・会計報告

<当面の予定>

① 第11回スタッフ会議

- ・日 時：10月2日(土) 13時～16時
- ・場 所：大阪自然環境保全協会
- ・内 容：調査の基礎的データの報告、データ解析・報告書執筆に向けて

② 第12回スタッフ会議

- ・日 時：12月18日(土)
- ・場 所：大阪自然環境保全協会
- ・内 容：データ解析・報告書一次原稿とカラーチラシの原稿検討